



10/3 九谷陶芸村まつり
ペットボトルアートの前で



10/4 スポーツフェスティバル in たらい
寺井議員団でリレーに挑戦



10/9 倉敷市日本女性会議
能美市男女共同参画推進委員と



10/10 寺井高等学校
創立50周年記念式典



10/11 寺井地区駅伝大会に
田中策次郎後援会チームが出場!



10/12 湯野校下町会長連絡会



10/13 寺井中学校ボランティア授業



10/18 能美ほっこりまつり ゆっきーランド



10/19 高齢者施設介助



10/25 さわやかジョギング大会



10/25 寺井地区区政報告会
岡田直樹財務副大臣と



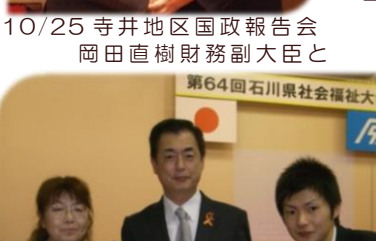
10/30 産官学交流研修会
宮本周司参議院議員と



10/31 能美市連合壮年団防災講演



11/1 吉光町防災講演会



11/10 福祉ボランティア
「チーム20」県表彰受賞



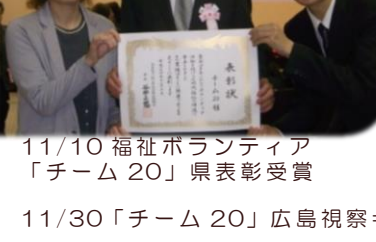
11/11 辰口中央小福祉授業



11/22 佐々木紀代議員と



11/24 粟生小学校福祉体験授業



11/30 「チーム20」広島視察→



12/4 寺井小学校福祉体験授業「えいむ石川」代表 佐藤さん(左)と



12/21 不登校の子どもを持つ親の会

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町丁 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@e-mail.jp http://3926jp.net/



日頃の活動も
ご覧ください

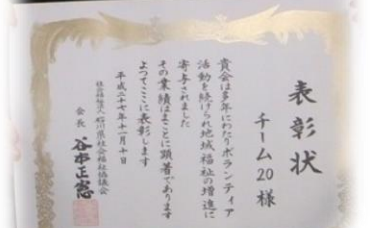


能美市議会議員 たなか さくじろう

田中 策次郎

「絆さずな」～能美市政報告～

- 常総市の災害ボランティアに参加 (1p)
- 12月議会 一般質問 (2p～3p)
 - 特殊詐欺(架空請求、振り込め詐欺)防止策を問う
 - 子どもの貧困対策について問う
- いじめ・虐待等社会問題対策特別委員長に就任!



福祉ボランティア団体県表彰受賞

茨城県常総市 災害ボランティアに参加(10月5日～7日)

「平成27年9月関東・東北豪雨」被災地災害ボランティアに個人で参加してきました。浸水家屋の床下の泥出し・内壁剥がし・屋外漂流物片付け・消毒石灰の散布等を行なってきました。ボランティア終了後に家の方から当時の様子や今後の生活への不安などをお話し戴きました。



「あっと言う間に水が腰まで来て2階に逃げるのが精いっぱいだった」
「電気が止まり情報の無い中、救出を待つ時間がとても長く感じられた」
「片付けをいくらやっても終わらず疲弊している」
「災害発生後、まだ水の引かず避難所にいる間に泥棒が横行した」
「まだ避難所生活が続き、家の修理もままならない。先行きが不安だ」
などボランティア先のお宅のご夫婦のお話でした。

現地と一緒に仲間の仲間と撮影
左2人目3人目が被災ご夫婦で
写真上のベランダから自衛隊の
ヘリコプターで救助された

活動後には災害ボランティアセンター運営のお話もスタッフから色々教えて戴きました。



3日目の午後は常総市役所に訪庁しました。

災害時には市庁舎も1m近く浸水し、ほとんどの機能が停止した。訪問時にも多くの部署がプレハブの仮庁舎で業務を行なっていました。

- 議会事務局「災害時の議員の対応」
- 総務課「防災対策と災害対応」
- 福祉課「災害弱者の避難と被災後の支援」のお話をうかがってきました。



今回の常総市への災害ボランティア参加でも様々な事が教訓となりました。現地では被害者を減らしたのは災害発生時の個人や地域の対応であった。行政は被災後の対応で力を発揮しており、ボランティア受け入れや被災者の心のケア・防犯対策等も官民一体で取り組む必要がある。災害時の議員の役割も取り決めておく必要があり、災害時「何が出来るか」平常時に市民一人一人が考え心構える事が大切であると感じた。能美市でも市民の防災意識向上と行政の減災対策・被災対応が重要と考える。



豪雨災害発生時の様子

質 特殊詐欺防止に自動通話録音装置の貸出しや購入補助制度を検討せよ



能美市内で今年警察に届け出のあった特殊詐欺は3件で被害額は2,390万円！警察の話では不審な電話やメール等の相談はきわめて多いとの事。また、被害額が小さかったり、犯罪との係わりが怖い、被害にあった事を家族に知られたくないなど届け出の無いものも多くあり、全ての実数は警察でも把握出来ないとの事であった。寺井署では市内のほとんどの町会の老人会等の会合で署員が出前講座を行っており、市防犯協会や職域防犯委員会も啓発活動を行なっている。特殊詐欺は犯人検挙が出来ても、全部のお金が戻る事は無く精神的にも経済的にも大きな打撃を受ける。

- 高齢者や高齢者を持つ家族が安心して暮らせるよう、特殊詐欺の防止策として効果があると考えられる自動通話録音装置の無償貸し出しや機器の購入補助が出来ないか？

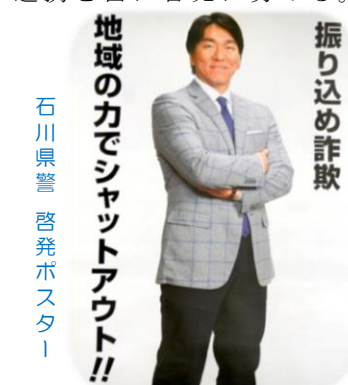
答 本田 博明 市民生活部長

- 日中に高齢者が対応する世帯では抑止効果が期待できると思われる。県内市町等の動向を参考に検討する。

市民相談室では社会福祉協議会とも連携し、これまでに町会・町内会見守り会など特殊詐欺の口や断る力を持つことの大切さ、行動に移る前には必ず家族や関係機関に相談するといった対応の徹底こそが最も重要であり、出張学習会等を開催している。緊急時には防災行政無線を通じて注意喚起も行なっている。今後も警察や関係機関と連携を密に啓発に努める。



各写真はテレビ小松より



質 市健康福祉部と警察の連携を強化し、周知活動を進めよ

これまで地域で民生児童委員さんや見守り交流会、いきいきサロンなどで特殊詐欺防止の出前講座を行なっているが寺井警察署長も、さらなる市との連携協力を望んでおりました。

- さらに市健康福祉部と警察の連携を強くし特殊詐欺防止の周知を進めよ

答 勝山 與四久 健康福祉部長

健康福祉部では福祉見守りが必要な方を早期発見し支援をするため民生児童委員さんの協力で福祉見守りあんしんマップを作成し防災・防犯に対し関係機関と連携を取っている。

- 今後も高齢者など要援護者宅を訪問する機会の多い「民生児童委員」「福祉推進委員」「NPOえんがわ」「介護事業関係者」の方々にも特殊詐欺防止の注意喚起をお願いしていく。



質 市内の貧困家庭の子どもの実態は？

日本の子どもの6人に1人が貧困状態と言われ、貧困問題がある子ども達は学校生活や進学などで課題をかかえる事が多いと言われます。

- 地域や学校で子どもの貧困に該当する人数を把握しているか？

答 中嶋 敏一 教育長

- 就学援助費の認定児童生徒数は236人で全児童生徒の4.8%。参考として、ひとり親家庭の児童の貧困率が高いと言われる事からひとり親家庭の福祉手当給付対象の児童数は11名である。



質 地域で貧困家庭の子どもを支える居場所づくりを支援できないか

きちんと子育ても行っているが、ひとり親で夜に働く家庭や、生活に余裕のない家庭など、福祉行政の手が届かない部分や学校の支援を受けられないグレーゾーンの家庭の子ども達を市民の力を活かし、市内の施設や空き店舗や賛同する一般家庭などを利用し少人数の子どもをマンツーマンで見守る居場所が作れないか。

先進的取り組みを行なっている「京都山科醍醐こどものひろば」では週1回17時から21時まで過ごすトワイライトステイの活動で銭湯に行ったり一緒にご飯を作って食べることで、今まで夜に1人で過ごしていた子ども達は大人の愛情や人とのつながりを感じ明るく変化していくとの事です。

全ての子どもが安心して暮らせるよう、市民が主体となって「何が出来るか」「どこまで出来るか」を考え・実践するきっかけ作りを市として行なって欲しい。

- 市が貧困家庭の子どもの居場所づくり団体の立ち上げ、運営の支援・協力が出来ないか？また、子どもの貧困に対し大人が理解するような学習の機会を生涯学習の中でも行って欲しい。

答 中嶋 敏一 教育長

市では全ての児童が放課後等における様々な体験や活動が行えるよう児童館の整備や児童クラブの開設、子育て支援センターの整備を行ない子ども達が孤立化しないように努めている。地域の子育てグループやスポーツ、文化を含めた各種団体、ボランティアに地域の高齢者の見守りなど子どもに対し愛情をもって接していただき感謝している。本年度から学校地域支援アップ事業を立ち上げた。

この事業により地域の人々が子どもを地域で見守ることができないかと考えている。

質 子どもの貧困対策の取り組みを問う

国が「子どもの貧困対策法」で「教育支援」「生活支援」「保護者の就労支援」「経済的支援」対策を示したが、

- 市ではどのような子どもの貧困対策の取組みを行なっていくのか子どもから若者、高齢者が幸せに暮らせるまちづくりを望む！



京都山科醍醐こどものひろば 代表の幸重氏と

答 酒井 悌次郎 市長

「教育支援」では、フォローアップスクールや学習支援ボランティア事業を行っており、今後は、より参加しやすい環境づくりなどを図っていく。「生活支援」では、医療費の窓口無料化と、ひとり親家庭に係る福祉手当給付事業を行なっている。

「保護者の就労支援」では、護師や介護福祉士の資格取得に向けた就学を支援する高等職業訓練促進給付金事業やハローワーク小松の就職支援ナビゲーターによる巡回相談と自立相談支援員や就労支援員により生活困難者と考えられる世帯に対して就労支援を行なっている。

「経済的支援」では修学旅行や合宿の経費の補助、部活動の備品購入補助や大会への経費支援を行なっている。

- 各部署に関連するさまざまな支援や制度等について国、県の動向も注視し庁内外の関係部署が連携を密にして対応する。

若者の貧困対策も問題と考え、能美市としても若者の住宅実情実態調査など行い把握する必要があると思う。能美市として若者の住宅対策について応援し若者の元気アップにつなげたい。



能美市民の力を活かす！

市民の声を市政に活かしています！

いじめ・虐待等社会問題対策特別委員会が設置され委員長となりました。

- 学校におけるいじめや家庭内の暴力・虐待等の調査研究
- いじめ虐待等の防止対策、並びに啓発活動に関する事

社会や学校におけるいじめや虐待といった人としての尊厳を否定する問題を見過ごすことなく、一人一人が個人として尊重される地域社会を築いていくために特別委員会を設置する。

12月議会にて常任委員会の組織替えが行われ田中策次郎の所属委員会は下記の通りです。

- 「教育福祉常任委員」
- 「いじめ・虐待等社会問題対策特別委員長」
- 「議会運営委員」
- 「広報特別委員」
- 「能美広域事務組合議会議員」